



氷川町議会だより

清流ひかわ

No.34

令和元年
12月定例会

一斉放水

- P2 12月定例会 会計年度任用職員に一時金支給へ
- P4 **そこが聞**きたい 3議員が一般質問
- P8 常任委員会議案審査報告
- P10 先進地視察研修 定住・デマンドタクシー
- P13 個人研修報告 沖縄県宮古島
- P14 スポット 野津古墳群

測量委託費など決まる 一時金支給へ



氷川町役場

◆条例制定

○氷川町パートタイム会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の制定

地方公務員法及び地方自治法を改正する法律の施行に伴い、現在非正規の職員等を会計年度任用職員（パートタイム）として、任用期間を一年以内とするものです。

今回の条例制定で、これまでの非正規職員に支給されていなかった一時金（期末手当）が支給されることになりました。また、任用（雇用）期間が原則として1年以内となります。

12月定例議会では、条例制定3件、条例の一部改正4件、令和元年度一般会計補正予算（2件）、国民健康保険特別会計補正予算、介護保険特別会計補正予算、後期高齢者医療特別会計補正予算、下水道事業特別会計補正予算、熊本県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の一部変更、人権擁護委員候補者の推薦を審議し、全ての議案を原案のとおり全員賛成で可決、人事案件を同意しました。なお、一般質問は3名の議員が行いました。

○氷川町フルタイム会計年度任用職員の給与等に関する条例の制定

地方公務員法及び地方自治法を改正する法律の施行に伴い、現在非正規の職員等を会計年度任用職員（フルタイム）として、任用期間を一年以内とするものです。

○地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定

地方公務員法及び地方自治法を改正する法律の施行に伴い、会計年度任用職員制度の導入により、関係条例を整備するもの

です。

◆条例の一部改正

○氷川町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例

災害弔慰金の支給等に関する法律及び施行令の一部改正に伴い、条項の番号変更などにより関係する町の条文を整理しました。償還に関する資産等の報告義務が追加されました。

○氷川町福祉センター等条例の一部を改正する条例

竜北福祉センター及び宮原福祉センターの利用区分等の統一、整理を行うため、条例の一部を改正しました。

浴室利用区分が大人（中学生以上）・子供（小学生）となりました。

○氷川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

子育てを行う家庭の経済的負担の軽減を図る少

子化対策の観点で、幼児教育・保育の無償化に関する「子ども・子育て支援法の一部改正」に伴い町の条例を一部改正しました。

この条例の改正で、副食費の免除規定などが定められました。

○氷川町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

児童福祉法の一部改正による厚生労働省の省令の一部改正に伴い、町の条例の一部を改正しました。



町立常葉保育所



町道改良費・宮原防災公園 会計年度任用職員に

◆補正予算

◎令和元年度氷川町一般会計
補正予算(第5号)

※2億797万円を追加し、
総額76億188万円とする。

主な歳出予算は

○企画費

*ふるさと納税事業支援
業務委託料
1100万円

○ふるさと氷川応援基金費
*積立金 2000万円

○児童福祉総務費
*放課後児童クラブ健全
育成事業委託
642万円

*子育てのための施設等
利用給付費
371万円

○道路新設改良費
*町道河原鹿島西網道線
道路改良工事
1500万円

*町道北川反浦北鹿野線
道路改良工事
3300万円

○橋りょう新設改良費
*永田2号橋橋梁改築工
事
1900万円

○河川改修費
*準用河川「御講田川」

河川改修工事

480万円

*島崎川河川改修工事

550万円



「御講田川」河川改修工事現場

○災害対策費

*宮原防災公園測量設計
業務委託料
1002万円

*土地購入費
2241万円

○社会教育総務費

*土地購入費
507万円

*立木等補償金
877万円

◎令和元年度氷川町一般会計
補正予算(第6号)

※100万円を追加し、総
額76億288万円とする。

主な歳出予算は

○財産管理費

*庁舎井水配管漏水調査
委託料
41万円

○母子保健費

*産前産後ホームヘルプ
サービス事業
58万円

◎令和元年度氷川町国民健康
保険特別会計補正予算(第
1号)

※689万円を追加し、総
額20億1631万円とす
る。

主な歳出予算は

○一般管理費

*システム改修委託料
165万円

○特定健康診査等負担金償
還金
*特定健康診査等負担金
返還金 493万円

◎令和元年度氷川町介護保険
特別会計補正予算(第3号)

※63万円を追加し、18億2
150万円とする。

主な歳出予算は

○一般管理費

*介護保険制度改正対応
委託料
13万円

*控訴代理人委託料

50万円

◎令和元年度氷川町後期高齢
者医療特別会計補正予算
(第1号)

※18万円を追加し、1億6
860万円とする。

主な歳出予算は

○一般管理費

*後期高齢者医療保険シ
ステム改修委託
17万円

○特定健康診査等負担金償
還金
*国保連合会特別会計余
剰分償還金 10万円

◎令和元年度氷川町下水道事
業特別会計補正予算(第2
号)

※3787万円を追加し、
6億538万円とする。

主な歳出予算は

○公共下水道維持費

*氷川町公共下水道管路
施設修繕改築計画策定
業務委託料
1300万円

○公共下水道建設費

*八代北部流域下水道事
業建設負担金
2487万円

Q:今後の職員定数をどのように考えているか

A:今後10年間で職員数の削減を目指す



清田 一敏 議員

合理化や住民サービス
今後の考えは

議員 歳出で人件費が大きなウエイトを占めるが今後の職員定数をどのように考えておられるのか。機構改革を先行されましたが、その他にも合理化、住民サービスの点から考えておられることはありますか。

職員削減や
事業の効率化を図る

総務課長 現在第二次行政改革大綱及び実施計画を策定中でありまして、定員管理計画にあたっては現在の町の職員は普通会計職員が113人で人口規模が同程度の類似町村と比べて必ずしも多いとは言えません。しかし限られた財源の中で効率的な行政サービスを提供するため職員の退職による補充採用を基本としながらも、町の人口減を鑑みながら業務の見直しを行ない、今後10年間で現状から職員数の削減を目指すことにしてい

ます。

その他の合理化、住民サービスの点では、第二次行政改革実施計画の策定の中で安定的な財政運営のための財源確保、事務事業の見直し、窓口業務の改善、職員の人材育成等の取り組みを策定し、効率化を図り行政サービスの向上を目指してまいります。

ふるさと納税に
人的サービスの提供は

議員 返礼品目の登録状況はどのようになっていますか。ポイント制の導入や人的サービスの提供は考えられませんか。

今後、取り組みを検討する

企画財政課長 返礼品につきましては、インターネット受け付けを昨年4月から開始して当初19品目の登録でしたがその後受け付けサイトを追加し現在3つのサイトで受け付けを行い、合わせて108種類の登録となっております。

ポイント制の導入と人的サービスについてでございますがポイント制は寄附により交換ポイントを受け取り、有効期限内に返礼品に変えられるため、便利な制度であると承知しています。しかしなが

ら6月の制度改正により、経費総額を寄附額の5割以下に抑える必要から年度がずれますと規定に多少の影響があるのではないかと危惧しているところでございます。今後、制度内容を確認しながら検討させていただきますかと思っております。

人的サービスについては、ふるさとを離れた方が家や墓の管理をお願いできるシステムがあれば利用される方もあると思われませんが、町内においてそのような取り組みをされる事業所を把握できていません。他の自治体の取り組みも参考にしながら事業所などの掘り起こしに努めてまいります。

雇用の場の創出について

議員 企業誘致の状況と見込みはありますか。農業、商工業で雇用する人に対して支援策はできないか。

地域振興課長 企業誘致の現状については、宇城氷川スリートインターチェンジの隣接地に宇城市小川町の火の国食品工業株式会社が工場を建設する計画を進めておられます。その他については現在のところ見込みはありません。商工業で雇用する人については雇用奨励金の制度を設け

ています。町内に工場を新設・増設する場合、新規雇用者のうち町内に住所を有する者の雇用者一人につき30万円を事業所へ奨励金として1回限りで交付する制度です。

農業振興課長 就職支援の手助けとして氷川町ホームページ内に就農求人情報サイトを設け、求人したい農業経営者と就農したい方のマッチングを支援しています。また町が「特定地方公共団体無料職業紹介事業所」となりハローワークの求人情報を活用し求職者への情報提供を行っております。また、現在、氷川町では集落営農法人が法人設立されていますが、労働力の確保は今後の大きな課題となっているため、組織を大きくし雇用につながるよう集落営農法人等の組織化を支援してまいります。



宇城氷川インター



Q:税金を少しでも節約するため 入札制度の改革を

A:落札率の高止まりを改善するように努力する

三浦 賢治 議員

エアコン工事で落札率を 指摘したが落札率はどうか

議員 中学校エアコン設備工事で落札率が議会で指摘され、再審議となり可決されましたが、議会審議が執行部にとどまらずに反映されているのか。現在の落札率の状況を伺います。

7月からの平均落札率は 97・7%です

企画財政課長 竜北中学校空調設備等設置工事は、指名競争入札で11社を指名して入札を行い、5329万円で落札されました。その後定例議会に提案したところ、落札率が97・4%であったことにより否決でありました。

そこで再度入札を行うこととなり、入札手続きは何も問題なく設計書も誤りがなかった。前回の同様の内容で行い、その結果5005万円で落札、落札率は91・5%でした。結果的に工事費が324万円減額となりました。そして臨時議会において可決されました。

7月10日から12月3日までの工事関係の入札を26件実施し、落札率が95・5%から99・0%で平均では97・

7%になっていきます。今後適切な事務執行に努めて参ります。

落札率が高止まり 予定価格の撤廃を考えて

議員 住民の税金を少しでも節約するためにも経費削減が重要です。町工事の落札率も一つの検討事項ではないでしょうか。現在も落札率が高止まり状態と思われるので工事入札制度を見直すためにも予定価格の撤廃をどのように考えているのか伺います。

落札率の高止まりを改善し 適切な入札制度に努力する

副町長 町全体の工事価格は5億6000万円程度で、仮に1%落札率が下がれば560万円、2%で1120万円の費用が削減できます。また落札率の推移ですが、平成29年度が97・0%で30年度は97・8%で本年度は97・7%となっております。国、県との落札率の比較では、県の平均落札率が96・3%、国が90・5%、熊本市91・3%となっております。落札率の高止まりが指摘されています。県より氷川町は1・5%高くなっております。特に11月は99・0%で過去8年間では最高の落札

率でした。

予定価格の撤廃について、町は予定価格を入札前に公表しており、県と熊本市も事前公表しております。国と県内市町村の9つの自治体が事前公表をしません。一般的に予定価格を事前公表しないと業者間の競争原理が働くと落札率は下がると言われています。

予定価格の事前公表の根拠としては、氷川町財務規則第71条第4項で「町長が指定する建設工事等の請負、業務委託及び公有財産の売り払いに係る入札については、第1項の規定に係らず、その入札を執行する前に予定価格を公にすることができ」と規定があり、町長が工事等を指定すれば予定価格を公表できるものとなっております。今後、落札率の高止まりを改善し、適切な入札制度を促すためにも努力して参りたいと思っております。

議員 舗装工事についても高止まりと思うが、どのように入札を考えているのか。町外業者を入れるのか。

舗装工事の指名入札の 在り方も検討したい

副町長 地元業者の育成を目

的に施工管理を元請けで行えば下請けに出してもよいというところで、町のルールとして舗装工事の方法を決めています。高落札率の要因となっていれば、指名入札の段階で町外の舗装業者を指名に入れることも考えなければなりません。舗装工事における指名の在り方も検討したいと思っております。

議員 只今、中学校エアコン設備工事入札後の落札率について答弁を頂きました。平成24年度から入札制度や業者間の談合防止のための電子入札システムの導入に努めてこられましたが残念ながら落札率の高止まりが改善されていません。厳しい財政を鑑みますと歳出を抑えることが一番重要なことではないでしょうか。業者の皆さんの理解を得ながら議会と執行部が一体となって改善策に取り組んで参りたいと思っております。





Q:八代産畳表認知向上・需要拡大推進協議会の目的と役割は

A:八代産畳表のPRと農家の生活安定その一点

吉川 義雄 議員

**畳表は「日本の伝統文化」
町長はどう考えますか**

議員 畳表は「日本の伝統文化」と言われてきました。今、この日本の伝統文化が危機的な状況です。私は、以前い草問題で直接農水大臣にあったことがあります。その時、農水大臣は「畳文化は日本の伝統文化、しっかりと守っていきます。」と明言されましたが、中国産い草の大量輸入や生活様式の変化で急激に衰退してしまいました。こうした中で、国も氷川町もい草生産農家への支援を行っています。さらなる支援を行い「畳文化」「日本の伝統文化」を守り抜かなければならないと思います。町長はどう考えますか。

**畳表は日本の伝統文化
しっかりと応援していきたい**

町長 まさに畳表は、この日本で生まれた文化であり、古くは奈良時代からこの文化が始まったといわれております。そのことを考えますと、やはり畳は日本が誇れる日本の伝統文化であると私も思っていますし、その思いで支援させて頂きました。このい草、畳表につきましては、これが

らもしっかり応援していきたいと思っております。

**生産農家の声は
どう反映させるのか**

議員 氷川町も参加して「八代産畳表認知向上・需要拡大推進協議会」が設立されたが、今後の具体的な活動・事業はどのようなことが計画されていますか。この協議会にい草を生産されている農家の参加はありません。い草生産者の声も取り入れるべきです。

令和元年度は基盤整備をする

農業振興課長 協議会の目的は、官民が連携し八代産畳表のPR活動を広く行い、認知度の向上・需要拡大を推進し、畳産業の活性化を通じた、「い草産業の活性化」、ひいては「日本の伝統文化である畳の保護、継承」としてあります。そのことが八代地域のい草農家の経営安定に繋がると考えています。

専門的見地から企画、実行、助言を行うことができる事業者へ委託を予定しています。全国の一般消費者、特に大都市圏の消費者に向けた認知向上・需要拡大のための事業計画を策定。次に、協議会のホームページ立ち上げ、協議会の

広報を行う。そして、協議会の活動への支援・協力を要請のため企業訪問です。

農家の声も反映される

農業振興課長 協議会には「八代地域農業協同組合」も参加されておられますので、い草生産農家の声も反映されると考えています。

**い草農家は苦い経験がある
農家の声を聴くべきでは**

議員 私のところに生産者から話がありました。い草農家にとつて忘れられない時期がありました。日本の商社が中国産畳表を大量に輸入したために、い草農家は壊滅的な打撃を受けました。自ら命を絶つ事件が全国に知れ渡りました。設立される協議会は、商社や大手企業中心になることを危惧され、また同じようなことにならないかと心配されています。

日本の伝統文化である畳表を守るため頑張ってきた農家の生の声をしっかりと聴いてほしい。

**協議会の目的は、
農家の生活安定です**

町長 私も決意を述べさせていただきますが、

農家のみなさんも心配されていると思います。協議会をつくる時もしました何のためにもやるのですかと、農家のためにやるのでしたら応援しますが、会社だけが儲けるためなら私は応援しませんとはつきり明言させて頂きました。今回の協議会は、い草畳表のPRと需要拡大を目的とし、農家の生活安定につながっていく、その一点です。その道から外れたときには、協議会から撤退する強い意志を持っております。



推進協議会設立参加者
(後方右から3人目が藤本町長)

議会の機能強化及び、多様な人材を確保するための環境整備に関する重点要望を決定

全国町村議会議長会報告 氷川町議会議長 米村 洋

令和元年11月13日、東京のNHKホールで全国から約1800人の関係者が出席して「第63回町村議会議長全国大会」が開催され、氷川町議会議長として参加してきました。

大会は、南雲正副会長（新潟県湯沢町議会議長）の開会宣言で始まり、市原重光副会長（千葉県睦沢町議会議長）が、大会の意義を鮮明にするための宣言文を読み上げました。宣言に賛同する満場の拍手が会場を包みました。

要望事項を踏まえ、当面する重要問題の解決を図るた



東京で開催された全国議会議長会全国大会

め、要望事項を決議しました。大会の名のもとに決定した要望、決議、特別決議の実現に向け、「ガンバロー」を三唱し、大会は盛会裏のうちに終了しました。

宣言

町村は、食料供給、水源涵養、国土保全といった国民生活を支える役割を果たすとともに、地域資源を活かした産業を創出し、地域に根付いた伝統を守りながら、豊かな田园文化を育んできた。

しかしながら、東京への一極集中が進み、農山漁村からは若者が流出するようになると、地方では過疎化・高齢化が深刻な問題となり、本格的

な人口減少社会の中で、地域活力が減退している。

加えて、長期にわたる経済の低迷、東日本大震災をはじめとする大規模災害等の大きな打撃を経験した町村の行財政運営は、景気回復基調にある今日においても厳しい状況に置かれている。

このような状況に鑑みれば、我々町村は、持続可能な地域社会の確立を目指して、「地方創生」を実現させるとともに、地域が抱える諸問題解決に向け、来るべき「Society 5.0」時代における様々な可能性を受け入れるための体制整備を進めていく必要がある。

よって、全国町村議会議長会は、新たな時代における町村議会のあるべき姿を求め、本日、「第63回町村議会議長全国大会」を開催し、一致結束して、果敢に行動していくことをここに誓う。

以上、宣言する

国民健康保険運営協議会委員に

吉川 義雄 議員

松田 達之 議員

両議員が推薦されました。

12月1日、町長より氷川町国民健康保険運営協議会委員に任命状が交付されました。

人権擁護委員候補者の

推薦に同意

氏名 永田 春生

住所 氷川町鹿島

藤本町長から、人権擁護委員候補者の推薦について議会の意見を求められました。

永田春生氏は元役場職員で人権問題に精通していると推薦の経緯が報告され、審議し議会は推薦することに同意しました。



委員会レポート

総務文教常任委員会審査報告

片山裕治 委員長

当委員会に付託されました案件は、条例3件、予算1件、その他1件です。当委員会は、12月11日役場2階会議室で関係課長より議案の詳細説明を求め審査を行いました。審査で出た質疑、意見の主なものを紹介します。

○氷川町パートタイム会計年度任用

職員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の制定

報酬の見直しを検討していきます。

○氷川町フルタイム会計年度任用職員

の給与に関する条例の制定

西尾議員

現在の非常勤・派遣職員は新年度からどのような位置づけになるのか。

総務課長

勤務時間が7時間45分未満となり、パートタイムでの対応となります。

西尾議員

働き方改革では、正規・非正規雇用者の格差を縮めることが目的。処遇改善はできるのか。

総務課長

身分的には地方公務員扱いになり、期末手当も再任用職員と同率支給となります。

西尾議員

雇用の予算はどうなるのか。

総務課長

現在非常勤職員と派遣会社に委託での派遣職員となっており、来年度から町直接の会計年度任用職員採用することで8%の経費削減とパートタイムの雇用により、今年度1億2300万円・来年度1億2200万円の予定です。

西尾議員

処遇改善はできるのか。

総務課長

期末手当の今後の見直し、

報酬の見直しを検討していきます。

西尾議員

フルタイムでの任用は職員が産休や育児休業の代替え者等があった場合は適用するのか。

総務課長

事例があったときに検討していきます。

○地方公務員法及び地方自治法の

一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定

西尾議員

交通指導員の廃止で特別職公務員でなくなるがどうなるのか。

総務課長

法律改正で専門的なことに限定することとなり、新たな設置要綱を作ります。身分は有償ボランティアになります。

西尾議員

区長も特別職公務員でなくなるがどうなるのか。



はまどん公園

令和元年度氷川町一般会計補正予算(第5号)

西尾議員

総務費・企画費・委託料ふるさと納税の今年度の目標額と寄附増額の理由は何か。

企画財政課長

目標額は当初1000万円から5000万円に増額した。インターネットによる受付窓口を3社に増やし、イベントでのPR等の充実と返礼品の種類が増えたことが寄附額の増加につながったと思います。

西尾議員

消防費・災害対策費の3280万円の内容。

総務課長

避難拠点となります。宮原防災公園測量及び基本設計の業務委託費1002万円と用地購入費2241万円です。

西尾議員

宮原防災公園は、緊急防災・減災事業債と説明があり、起債充当100%と思うが財源はどうなっているか。

企画財政課長

遊具の設置等が予定されていますが、その部分については起債対象外になっています。

米村議員

教育費・社会教育総務費・公有財産購入費507万円。補償補填及び賠償金877万円の内容は。

生涯学習課長

野津古墳群の国指定範囲内の民有地の購入費と柑橘類の立木補償です。

三浦議員

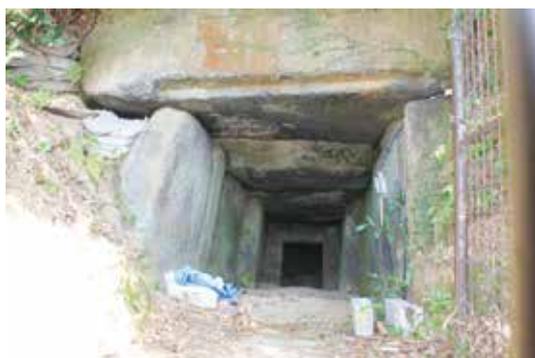
今回の買収地及び周りの町有地での計画はあるのか。

生涯学習課長

野津古墳群と大野窟古墳の公園化計画がありますが、熊本震災による大野窟古墳の被害復旧を優先しています。

三浦議員

今後を買収により町有地の維持管理費が増えると思われる。早く計画を進め、整備を行ってほしい。



大野窟古墳

委員会レポート

建設産業厚生常任委員会審査報告

清田一敏 委員長

当委員会への付託案件は、条例4件、予算5件であります。

当委員会は、12月11日役場2階大会議室で関係課長より説明を求めながら審査を行いました。審査で出た質疑・意見の主なものを紹介します。

○氷川町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正

吉川議員 弔慰金の支給に関し、報告等が追加されているが報告とは何か。

福祉課長 貸付けを受けた者又はその保証人の収入や資産などわかるものを提出することです。

○氷川町福祉センター等条例の一部改正

吉川議員 トレーニング室利用回数券（11枚）は、中学生だけが500



竜翔センター

円上がることになるが、どの位の利用があるのか。

福祉課長 中体連や高校入試が終わった時に多少の利用がある程度です。

○氷川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

特に、質疑及び意見はありませんでした。

○氷川町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

吉川議員 家庭的保育事業とあるが、氷川町で該当する施設はあるのか、また、現状はどうなっているか。

福祉課長 1施設あります。小規模保育事業所と連携施設として幼稚園を運営されています。

○令和元年度氷川町一般会計補正予算（第5号）

吉川議員 民生費、障がい児通所給付費等増額の内容は何か。

福祉課長 当初の見込みより対象者が多くなり、予算の不足が見込まれます。

国保連合会からの実績に合わせ、今年一番多い月の額をもとに計上しました。

吉川議員 児童福祉費、放課後児童クラブ健全育成事業委託料が増額されているが、新たに取組むのか。

福祉課長 算定方法が変更になったためです。内訳として、基礎額、児童の人数、開所時間、日数、障がい者受入、指導者のスキルアップ研修等の加算で算出します。

吉川議員 衛生費で、保健衛生費、合併浄化槽設置整備事業補助金の内容は。

町民課長 合併浄化槽設置整備補助金で、7人槽2基の追加分です。

吉川議員 健康センターの修繕料は何か。

町民課長 修繕料は、雨漏りがあるためコーキングを行うものです。

吉川議員 土木費で、土木管理費、単県事業負担金の率はどれ位か。

建設下水道課長 県が行う大野交差点改良事業等で町の負担金増額分です。町は事業の6・1725%を負担します。

○令和元年度氷川町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

特に、質疑及び意見はありません



大野交差点

○令和元年度氷川町介護保険特別会計補正予算（第3号）

でした。

河川議員 総務費、控訴代理人委託料の内容は何か。

福祉課長 宇城市の医療法人社団本田会に対し、介護報酬の不正請求に伴う第2審の弁護士費用です。

○令和元年度氷川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

特に、質疑及び意見はありませんでした。

○令和元年度氷川町下水道事業特別会計補正予算（第2号）

特に、質疑及び意見はありませんでした。

葉っぱビジネス・インターンシップ事業

パソコンやタブレット駆使して年収1000万円を

—徳島県上勝町視察研修—



上勝町棚田

徳島県上勝町

徳島県上勝町は、徳島中心部から車で約1時間程度の場所、勝浦川の上流に位置し、東西に19km、南北に12km。面積は109.63平方キロメートルで、北部、西部は剣山と雲早山・高丸山・旭ヶ丸等の連山がそびえています。人口は、1525人、770世帯（令和元年7月1日現在）高齢化率が52.39%という、過疎かつ高齢化が進む町で、四国では一番小さな町です。

地域活性化型農工商連携モデルの町

全国でも有数の地域活性化型農工商連携モデルとなつてい



る町で、葉っぱ（つまもの）を中心とした新しい地域資源を軸に地域ビジネスを展開し、20年以上にわたり農工商連携への取り組みを町ぐるみで行っています。

葉っぱビジネス（彩事業）

「葉っぱを売る」というユニークな発想から今や年商2億6000万円を超えるまでになっています。

「葉っぱビジネス」とは「つまもの」で、日本料理を美しく彩る季節の葉や花、山菜などを、栽培・出荷・販売する農業ビジネスで、ポイントは、商品が軽量で綺麗であり、女性や高齢者も取り組めることです。

おばあちゃんたちが、パソコンやタブレットを駆使し、なかには年収1000万円を超える農家も出ています。

葉っぱビジネスは高齢者・女性が参加

葉っぱビジネスには、770世帯が参加しています。今海外では日本食（和食）ブームなので、注目されているとのこと。

高齢者や女性に仕事ができることで出番と役割ができ、元気になり、町の雰囲気も

よくなってきたと話がありました。高齢者が中心の葉っぱビジネスは、今後10年で半分の人が引退をする。町がまた荒れてくるので、後継者育成に取り組むことが今後の課題だと話がありました。

移住・交流人口の増加 インターンシップ事業

上勝町では、町への移住・交流人口の増加、町のファンづくりを目的としたインターンシップ事業に取り組んできました。

町内で仕事を体験するため、町内の企業12社が事業の受け入れ、インターネット・ユーチューブも活用し事業に取り組んでいます。

600人が訪問 約30人が移住・定住

上勝町に毎年たくさんの方が町を訪れ、これまでに600名以上を受け入れ、約30人が町内に移り住んでいます。またその中には上勝町で起業し、新しいビジネスを始めた人もいます。

私たちの研修を受け入れ、事業を説明した人も、移住してきた人でした。

上勝町を研修して、葉っぱビジネスは高齢者でもできる

仕事、生きがいを持って取り組んでいける目標があることはとてもいいことだと感じました。高齢化社会に向けて今後取り組み事業を考えるいい機会になりました。

「SDGs未来都市」に選定

上勝町は2018年6月、自治体によるSDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた優れた取り組みを行う町として「SDGs未来都市」に選定されています。





さめき富士

移住先として選ばれる環境づくり

移住定住促進・公共交通（デマンドタクシー）

—香川県綾川町視察研修—



香川県綾川町

綾川町は、香川県のほぼ中央に位置し、平成18年3月21日に、綾上町と綾南町が合併して誕生した町です。総面積109.75平方km（平成26年10月1日現在）、人口約2万5000人の町です。町の南部には山林が広がり、北部は小山に囲まれた起伏の多い丘陵地で形成されています。町名の由来ともなった清流綾川は、南東部の山中に源を発して北西部に流れ、府中湖を経て坂出市に流入しています。綾川上流の柏原渓谷は讃岐百景の一つになっており、水と緑の豊かな美しい自然が広がっています。

移住先として選ばれるまちづくり

綾川町では、河野雅廣議長から歓迎のあいさつを受けて、研修が始まりました。綾川町は、平成28年3月に作成した綾川まち・ひと・しごと総合戦略の基本目標の一つとして、「移住先として選ばれる環境を整える」を目標に設定し、取り組みを強化しています。

綾川町では、転入超過者数（転入者と転出者の差）を増加させることを目標にし、5年間で295人の転入超過を実現しています。

人口減対策に4つの基本目標

綾川町は総合戦略として、
①働きやすい環境を整える
②移住先として選ばれる環境を整える
③結婚・出産・子育てが楽しい環境を整える
④末永く住み続けられる環境を整えるを掲げて取り組んでいます。

1JU（移住）ターン 促進住宅支援事業補助金

移住及び定住促進による地域活性化を図るため綾川町に移住しようとする者の住宅の

賃貸に係る費用の一部を助成します。

・平成28年3月1日以降に綾川町へ転入し、綾川町に住民票の登録があること。

・転入の時点で満40歳以下であること。

・複数の世帯の世帯員であること。

・綾川町に引き続き5年以上居住する意思がある者であること。

・公務員でないこと。

・町内に定住する意思があることなどの条件があります。

移住・定住促進住宅

町外から町内への移住や定住を促進するために、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構の「雇用促進住宅」を買い取り、町が管理運営をしています。月額3万5000円ですが、一定の条件で家賃が減額されます。

減額の条件は、複数の世帯員からなる世帯で、入居時に全員が満35歳以下の世帯は、月額1万円の減額。同居する

親族の中に中学生以下の扶養親族がいる世帯は、中学生一人当たり5000円減額（上限は1万5000円）。70歳以上の高齢者のみの世帯は、

1万5000円減額されます。

町内を網羅した交通網の構築にデマンドタクシー

デマンド型乗合タクシーとは、予約制の乗合タクシーです。乗り合わせの皆さんのご予約によって運行時間やルートが決まります。一人の場合でも運行します。

低額・無料で運行

1回の乗車につき300円です。小児（満6歳未満）と、運転免許証を自主返納されている方でバス無料券をお持ちの方は無料。障がい者手帳等の交付を受けている方は、乗車時に手帳をご提示いただくことにより半額（150円）。

デマンドタクシーは、多くの方の乗り合いのご利用となりますので、時間通りの運行の保障はできない。発着時刻を優先したい場合は、一般のタクシーや町営バスの利用となっています。

氷川町は、移住定住促進事業に取り組んでいます。また、町内の交通網の整備を求める声もあります。研修を活かし氷川町にあった対策を今後議会として考えていきたいと思

「待ったなし!! 大胆刷新へ真剣討議」

持続可能な議会広報誌を目指して

熊本県・町村議会広報研修会に参加して

令和元年度の町村議会広報研修会が、11月22日熊本県市町村自治会館で行われました。今回は県内の町村を4つのグループに分け、少人数で広報紙の制作過程や意図を学ぶという形式で行われました。氷川町議会広報委員（4名全員）と議会事務局長が出席しました。



研修は最初に、熊本日日新聞社N-E専門委員・熊本大学客員教授の越地真一郎氏が「待ったなし!! 大胆刷新へ真剣討議」を継続可能な議会広報誌をめざして

と題して講演がありました。講師の越地氏が、議会広報誌が地域で存在感を増すためには、いま何が必要か―情報爆発的時代の中で待ったなしの課題です。各町村の実例を踏まえ、「持続可能」な広報のためにはどう工夫し変革すべきかを討議します。とのあいさつで研修が始まりました。

全国でも珍しい研修スタイルで、グループごとに広報誌のクリニックを受ける6町村の議会広報誌を、研修参加者は事前に精読して参加することが求められて

いました。

事前に読むことで、内容を理解して討議に参加する。自分の町の広報誌に生かす。また、「良薬は口に苦し」「人のふり見て我がふり直せ」…自分のところに当てはめてみる。「広報誌づくりで議員力アップ」という視点…自分のためになる。自分の発信力を養うということができると広報誌づくりを前向きに取り組むことが強調されました。

クリニックを受ける町村の議会広報誌の一つ一つの良いところが紹介された後、忌憚のない討議をしたいという講師の思いもあり、参加者から記事の掲載の方法や何故こうした記事にしたのか、反対にこうしたらどうかなど細かな質問が相次ぎました。また、広報誌作成にあたっての苦労したことなども話され、笑いも交

えて楽しく討論が行われました。町が、村が変わる。執行部もびっくりする。

講義の最後に、全国トップ町村に学ぶことが強調されました。「全国トップの町村の広報誌は、目立つ作り方をしている。ポイントをはっきりさせている。目立つために、週刊誌的にする。議会広報誌が変われば、

議会だより作成の心構え、ポイント10カ条

- 心構え
- ① 熱い思い(志、ビジョン)
 - ② それを伝える表現力

作成のポイント10カ条

- ① 経験・技より意欲・関心(義務が自発的か)
- ② 難しいことを分かりやすく、硬いことを柔らかく(作り手の苦労は読み手のため)
- ③ 先入観を捨てる(「議会広報とはこんなもの」という思い込み)
- ④ 企画・特集を重視(テーマは身近にいっぱいある)
- ⑤ 「何を載せるか」より「何を捨てるか」(10取材して1を書く)
- ⑥ 広報委員会の役割強化(全議員の共通認識を)
- ⑦ 議会だよりならではの視点(議案決議に至るまでのプロセス)
- ⑧ 自治体広報誌との差別化(一方で連携も)
- ⑨ 若者(近未来の有権者)を意識した編集
- ⑩ モニターなど第三者の視点導入

我が町の発展へつながる 若洲・不知火へ大橋の建設を 6次産業化で農業の発展に寄与

沖縄県宮古島を研修して…三浦賢治・長尾憲二郎・上田俊孝

議員活動強化のため、2019年11月25日～27日までの日程で、議員の自主調査及び研修に沖縄県宮古島に三浦・長尾・上田議員3名で行って参りましたので報告します。

宮古島の総面積は204平方キロメートル、人口5万5000人、気候は亜熱帯海洋気候で四季を通して温かく、年間平均気温は摂氏23度、湿度は80%で暮らしやすい気候であります。

小さな島が大きく発展 地価高騰の問題も

このような小さな島が思った以上に発展しているのに驚きました。産業面では有名な大型店の出店・大手リゾート会社や専門店の建設で定住人口が増え地域が活性化しています。その反面、一部では観光化した部分もあり、土地の価格が坪単価50万円と大幅に上昇しているとのこと。また、林野庁の補助金で民間機のパイロット養成空港を活用し、国際便もあり、外国人観光客の増加や透き通るブルーの海と白い砂浜に総事業費320億円を投じて全長3

540mの日本一長い橋、伊良部大橋が建設され、観光面の発展に繋がっています。また、毎年国際的規模のイベント、全日本トライアスロン宮古島大会・プロ野球キャンプ・各種スポーツ団体の合宿などが行われていまして、島全体が「スポーツアイランド宮古島」として活気づいています。

宮古島の農産物はサトウキビが主生産で、宮古島製糖場で加工され、土産物店で宮古島の特産品として観光客に販売されて自然の甘みがあり人気商品として大好評となっています。このように、宮古島には活気があり元気があります。

我が町の発展に 若洲・宇城不知火大橋建設

氷川町が社会的向上を図るためには、若洲・宇城不知火大橋を建設し宇城氷川スマーティンターチェンジと一体化

した直線道路を整備することで、企業誘致や農林水産業が潤い人口対策に貢献できますので、将来の発展のためにも是非検討して頂きたいと思えます。

6次産業化で 農業の発展に寄与できる

宮古島はサトウキビを製糖し黒糖として販売する6次産業で成功されていますので、氷川町も地域の活性化策として、農産物のもち米・苺など生産品質とも1級品を苺太福餅や、大型酪農が

営農されていますので、新鮮な牛乳を活用したチーズ製造などを加工販売するための農産物加工所を建設することで、農業の発展に寄与できるものと思えます。

実現のため執行部に議員提案として協議して頂きましたと思います。

以上で議員の調査及び研修報告とします。

宮古伊良部商工会役員さん



伊良部大橋

議員の自主調査及び研修派遣

氷川町議会では、住民の福祉の向上に資するため、自主的な調査研修を行うことができるようにしました。調査研修を行い、積極的に執行部に政策提言。意見を行うことができました。尚、議員は事前に調査研修の計画書を議長に提出。議員派遣の手続きを取ります。

スポット

国指定 野津古墳群



野津古墳群（中ノ城古墳）

野津古墳群は、標高100mの丘陵上に位置し、長さ60～102m、4基の前方後円墳から成っています。この4基は6世紀前半の約50年間に、集中して造られました。各古墳の時期差がほとんどなく、葬られた人の間柄等よくわかっています。



埴輪

盾形の周溝が巡り、外と古墳をつなぐ陸橋があります。埋葬施設は横口式家形石棺か石棺式石室と考えられます。

真ん中にあるのは中ノ城古墳で、前方後円墳の形は残しているものの、大きく改変を受けています。埋葬施設は横穴式石室で、奥に石屋形と呼ばれる棺を作っています。この古墳からは、人や馬の埴輪、大変大きな円筒埴輪が出土しています。

野津古墳群の中で最も北に位置するのは姫ノ城古墳です。古墳の長さ86mで、周りに周溝があります。またくびれ部には、造り出しの可能性がありますが、あまり調査が行われ



石製装飾品

盾形でないため、石室の様子は不明です。この古墳の特徴は、墳丘の周りに石製装飾品（石人石馬）を並べることです。石製装飾品は、灰石を材料に人や馬の埴輪に似せて作ったもので、全国的に非常に珍しいものです。

最も小さい古墳は物見櫓古墳で、古墳の長さ62m、西に出っ張ったところに位置します。他の3基に周溝があるのに対して、この古墳には周溝がありません。石室は横穴式石室ですが、石材はほとんど残っていませんでした。珍しいものとして、韓国との交流がうかがえる土器と金製垂飾付耳飾が出土しています。



金製垂れ飾付耳飾

表紙のひとこと

氷川町消防団新春恒例の出初式が、1月19日電北グラウンドで行われました。消防団は日頃から地域住民の生命・身体・財産を守るため訓練に励んでいます。当日行われた「点検」で氷川町第八分団（東網道・中網道）が優秀な成績で優勝し藤本町長・谷口団長から表彰を受けました。

点検の後、氷川大堰で一斉放水が行われました。若い団員の意気盛んな姿に大きな拍手がおきていました。



（優勝した第八分団）

編集後記

厚生労働省が公表した年間推計では、2019年に生まれた日本人の子どもは86万4000人（前年度より1万2000人の自然減）となりました。今後50年は出生数の減少が続くと見込まれ、早急に効果的な出生・育児支援対策が必要だと思われまます。

子育て支援サービスなどしっかり、勉強しなければと痛感した次第です。（河）

